

糖尿病重症化予防（フットケア）研修会 開催要項

主催 いわて糖尿病療養指導士会

- 1 目 的 糖尿病患者へのフットケアの意義を理解し、評価法と実践の技術を身につける
- 2 目 標 (1)糖尿病患者へのフットケアの意義を理解する
(2)糖尿病患者の足病変の病態生理、治療を理解する
(3)糖尿病患者へのフットケアのための評価方法を学ぶ
(4)糖尿病患者へのフットケアの技術を学ぶ
(5)糖尿病患者の事例検討を通して、フットケアにおけるセルフケア支援を理解する
(6)予防的フットケアを実践するためのシステム構築について考えることができる
- 3 期 間 2025 年 11 月 22 日（土）～23 日（日・祝）（2 日間）
- 4 開催会場 岩手医科大学附属内丸メディカルセンター 入院棟／創立 60 周年記念館 8 階研修室
住所：〒020-0021 盛岡市中央通 1 丁目 2－1 地図は別紙 2 参照
※研修受講人数により、会場を変更する場合があります。
その際は受講決定者へ受講案内とともにお知らせいたします。
- 5 定 員 50 名
- 6 受講対象 (1)糖尿病足病変患者の看護に従事した経験を 5 年以上有し、研修終了後、その業務に携わる予定の看護師であること
(2)全日程（2 日間）受講できること
(3)所属長の推薦があること
(4)保健師・助産師・看護師
- 7 修 了 証 ・本研修は、「糖尿病合併症管理料」算定要件内の「糖尿病足病変に係る適切な研修」に該当し、全日程・全プログラムを受講した者に修了証を交付する
・欠席、遅刻、早退は認めないものとする
- 8 受 講 料 30,000 円
(消費税含む) ※受講決定者へ受講決定通知を郵送いたします
振込先を明記しますので、振込期日までにお振込ください
※振込期日まで振込ができない場合は、必ず連絡先までご連絡ください
※振込後、欠席等による返金はいたしかねます
- 9 プログラム 別紙 1 参照

- 10 持参物品 別紙2を確認の上、各自で準備してください
- 11 携帯品 受講決定通知書（受講決定者へ11月上旬までに郵送）を必ずご持参ください
- 12 昼食は各自でご用意ください

13 申し込み方法

＜研修要綱は「いわて糖尿病療養指導士会」のホームページにも掲載いたします＞

アドレス <https://iwate-cde.jp>

- ① 受講条件を確認し、受講申込書へ必要事項を記入してください
- ② 110円切手を貼付、返信住所・氏名を記載した封筒を同封してください
- ③ 封筒の表に「受講申込書在中」と朱書きで記載し下記住所へ郵送でお申込みください
- ④ 10月20日消印有効

郵送先 〒020-0066 岩手県盛岡市上田1丁目4-1
岩手県立中央病院 糖尿病・内分泌内科外来
いわて糖尿病療養指導士会 研修担当 高橋 雅代 行

14 問い合わせ先

いわて糖尿病療養士会 研修担当＜重症化予防（フットケア）研修＞

岩手県立中央病院 糖尿病・内分泌内科外来 高橋 雅代

TEL 019-653-1151（内線5368） 平日8:30～17:15

※当日の遅刻・欠席につきましては、受講決定通知に同封の記載連絡先へ必ずご連絡ください

15 講師・ファシリテーター（50音順敬称略）

（氏名） （所属）

大下 咲子	岩手県立中央病院	日本糖尿病療養指導士
大沼 幹	岩手県立久慈病院	糖尿病看護特定認定看護師
菊池 美千代	岩手医科大学附属内丸メディカルセンター	糖尿病看護認定看護師
君成田 大	岩手県立二戸病院	糖尿病看護認定看護師
高橋 雅代	岩手県立中央病院	糖尿病看護認定看護師
千葉 美香	岩手県立軽米病院	慢性疾患看護専門看護師
栃内 優美	盛岡市立病院	慢性疾患看護専門看護師
箱石 恵子	国際医療福祉大学三田病院	日本糖尿病療養指導士
橋本 朋子	岩手県立中央病院	糖尿病・内分泌内科科長
三浦 慎平	岩手医科大学附属病院	皮膚科講師

16 感染対策について

- ・研修受講中は原則マスクの着用をお願いいたします
- ・当日、発熱・体調不良の方は、参加をお控えください

第4回 糖尿病重症化予防（フットケア）研修会 プログラム					別紙 1	
【1日目】 2025年 11月22日（土） 9：00～9：10 オリエンテーション		【ファシリテーター】 大下咲子、菊池美千代、君成田大、高橋雅代、千葉美香、栃内優美、箱石恵子			主催：いわて糖尿病療養指導士会	
時間	講義・演習	テーマ	ねらい	内容	講師・ファシリテーター	
9：10～10：10 60分	講義 1	糖尿病患者の療養を支えるフットケア	患者の糖尿病や足の状態を捉えたと共に、セルフケア状況までを含めた評価（アセスメント）を行ったうえで、その患者に適したフットケアの方法を考え、継続的に実践していくセルフケア支援のプロセスである。このような糖尿病患者へのフットケアの意義を理解する	1. 糖尿病患者への足への関心 2. 足の状態を共通理解するための働きかけ： 足を見る、足に触れるということ 足を見るのを促す、足に触れるのを促すということ 3. 足のケアを通して患者の生活を理解すること 4. 療養を支えるフットケアへ継続していく大切さ 5. チーム医療における看護師が行うフットケアの意味	栃内優美	
10：20～12：20 120分	講義 2	糖尿病患者の足病変～病態生理から治療まで	糖尿病患者の足病変、病態生理、治療、検査について理解する	1. 糖尿病足病変の病態生理 2. 糖尿病神経障害の検査 3. 血流障害の検査 4. 糖尿病足病変の治療	三浦真平 橋本朋子	
13：10～14：40 90分	講義 3	糖尿病患者のフットケアのためのアセスメント①	糖尿病患者の足の状態、全身状態、生活状況、セルフケア状況を理解し、患者の足の状態と取り巻く状況を含めてリスクをアセスメントできる	1. アセスメントとは 2. 記録用紙の使い方と意味 3. 糖尿病患者のハイリスク評価 4. 足の状態を捉える皮膚の状態、神経障害、血流障害、生活状況 5. 全身状態を捉える姿勢、歩き方、高血糖、低栄養、免疫力 6. セルフケア状況の把握足への関心 フットケアに対する理解 足の問題に関する経験生活習慣 サポートバージョン 7. 生活状況を捉える足への負荷の状況-仕事 靴の選択 清潔習慣	高橋雅代	
14：50～15：20 30分	講義 4	糖尿病患者のフットケアのためのアセスメント②	アセスメントの統合と足病変リスク評価に伴う課題抽出過程を理解する	1. アセスメントの統合 2. 足病変のリスク評価 3. 課題の抽出過程の解説	高橋雅代	
15：30～17：10 100分	演習 1	糖尿病患者のフットケアのためのアセスメント	糖尿病患者へのフットケアにおける足の状態のアセスメント及び、足病変のリスク評価の技術を学ぶ	1. デモンストレーション（研修担当） 2. 参加者がベアになり演習 ・姿勢、歩き方、足の外観を捉える、知覚および血流の状態、靴や靴下の観察 ・生活状況、足の手入れの状況の確認 ・フットケア記録用紙の活用 ・足の状態をアセスメントする ・足病変のリスクを評価する	君成田大 ファシリテーター	
17：20～19：00 100分	講義 5	フットケアの実際～予防のためのセルフケア支援	糖尿病患者の置かれている状況やリスクの評価を基に、その患者に適したフットケアの実践ができ、セルフケア支援につなげることができる	1. 予防のための方法 清潔を保つ・乾燥を防ぐ・感染を防ぐ・蒸れを防ぐ・圧迫 ずれを避ける 2. セルフケア支援のためのポイント	千葉美香	
19:10～19：20 10分	演習 2	事例分析と評価①	事例を展開し、フットケア計画の立案につなげることができる	事例の説明	千葉美香	

【2日目】 2025年11月23日（日・祝）				【ファシリテーター】 大下咲子、大沼幹、菊池美千代、君成田大、高橋雅代、千葉美香、栃内優美、箱石恵子		
時間	講義・演習	テーマ	ねらい	内容	講師・ファシリテーター	
9：10～11：20 130分	演習3	フットケアの実際～予防のためのセルフケア支援	糖尿病患者のフットケアの予防のためのセルフケア支援技術を経験し、身につける	1. デモンストレーション（研修担当） (1) 患者の足を見る、触れる (2) アセスメントをする (3) 必要なケア内容を検討する (4) 処置を行う ①ゾンデの使用手法 ②ニッパ、ヤスリによる爪のケア ③コーンカッターの使用手法 ④レデュサーの使用手法 ⑤保温 (5) セルフケアに向けての支援 2. 参加者がベアになり演習	君成田大	ファシリテーター
11：30～13：10 100分	演習 4	事例分析と評価②-アセスメントと問題点の抽出	足病変のハイリスク状態にある糖尿病患者の事例を通してフットケア計画を立案する-アセスメントから問題点の抽出ができる	事例検討（グループディスカッションと全体討議）	菊池美千代	ファシリテーター
14：00～16：00 120分	演習 5	事例分析と評価③-ケア計画立案	足病変のハイリスク状態にある糖尿病患者の事例を通してフットケア計画を立案する～看護問題から課題と具体的なフットケア方法を立案する	事例検討（グループディスカッションと全体討議）	箱石恵子	ファシリテーター
16：10～16：50 40分	演習 6	まとめ 今後の糖尿病重症化予防（フットケア）の活動に向けて	自施設において、フットケアを実施するための方法を考える	自施設における、今後のフットケア活動計画を立てる	栃内優美	
17：00～18：00 60分	講義 6	糖尿病重症化予防におけるフットケアの評価と今後の課題	糖尿病重症化予防におけるフットケアの評価と今後の課題を理解し、予防的フットケアを実施するためのチーム及びシステム作りを考える	1. 平成20年度診療報酬における糖尿病重症化予防（フットケア）の位置づけ 2. 予防的フットケアを実施するためのチーム医療及びシステム作り	菊池美千代	

持参物品

1 指定図書

糖尿病看護フットケア技術 第4版：一般社団法人日本糖尿病教育・看護学会編，
日本看護協会出版会，2024年5月 発行

※第4版が2024年5月に発売されましたので、第4版をご準備ください

※当日、会場での販売は致しませんのであらかじめご了承ください

2 演習用物品

- 1) バギンスキー式打腱器 2) モノフィラメント（足用、サイズ：5.07）
- 3) アルミ音叉（C-128Hz） 4) 秒針付き時計 5) 爪用ゾンデ
- 6) 爪切りニッパー 7) コーンカッター（刃を含む） 8) 爪やすり
- 9) レデューサー 10) 医療用ゴーグル（シールド付きマスク） 11) タオル
- 12) メジャー 13) トレー 14) 敷物（新聞紙等床の汚れ防止に使用）

※演習に際し、足の爪を切らずにご参加してください（目安：1か月半以上）

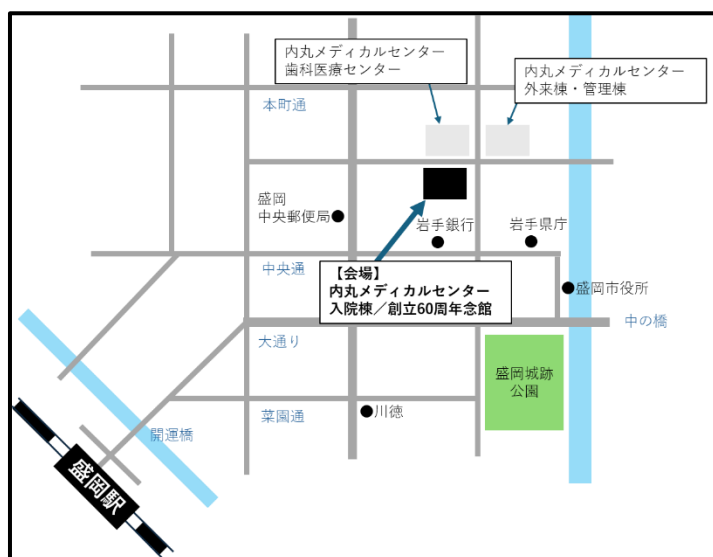
※物品は出来る限りご持参ください。不足分は研修生同士で貸し借りをご相談ください

会場 地図

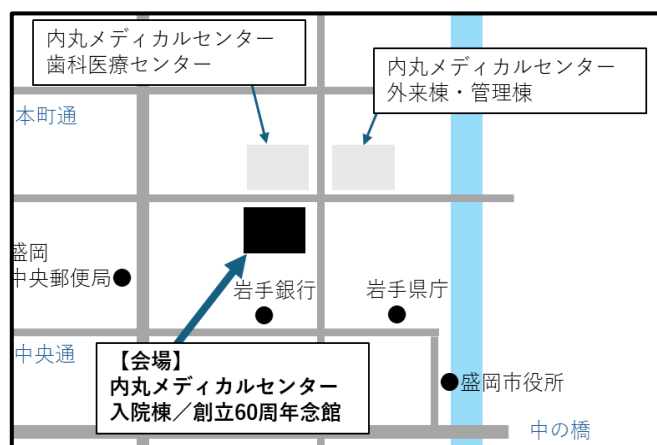
岩手医科大学附属内丸メディカルセンター 入院棟／創立 60 周年記念館 8 階研修室

住所：〒020-0021 盛岡市中央通 1 丁目 2 - 1 ※会場への直接の問い合わせはご遠慮ください

周辺地図



拡大地図 (Zoomed Map)



第4回 糖尿病重症化予防（フットケア）研修会 受講申込書

申込日：令和 年 月 日

実施要項をよくご覧になり、受講条件を確認し、必要事項を記入してください。該当項目に○および記入してください。

ふりがな：		年齢	歳	性別	(男・女)
氏名：		職名：1、保健師 2、助産師 3、看護師			
全経歴年数：①5～9年 ②10～14年 ③15～19年 ④20～24年 ⑤25～29年 ⑥30年以上		職位：1、管理者 2、看護師長 3、主任 4、スタッフ 5、その他			
認定資格取得の有無 日本糖尿病療養指導士 有 ・ 無 (有の場合は下記に認定番号を記入) 認定番号： ※今回の研修では単位認定はありません		いわて糖尿病療養指導士 有 ・ 無 (有の場合は下記に認定番号を記入) 認定番号： ※認定更新に必要な研修1単位を申請中			
所属勤務先： 住所：〒 - 電話： - - FAX： - -					
優先順位 (1施設から複数応募の場合は順位を記入)：					
主な職歴： 西暦 年 月～ 年 月 西暦 年 月～ 年 月 西暦 年 月～ 年 月					
糖尿病足病変患者の看護に従事した経歴 (<u>5年以上</u> の経験があること)： 西暦 年 月～ 年 月(計 年 か月) 西暦 年 月～ 年 月(計 年 か月) 西暦 年 月～ 年 月(計 年 か月)					
研修参加動機・研修会への希望・研修後の自身の活動予定・自己の課題など					
※推薦書 上記の者は、本施設の常勤看護師であり、糖尿病足病変に関する療養指導や看護に従事し、所定の実務期間(糖尿病足病変の看護に従事した経験5年以上)を有しております。糖尿病重症化予防(フットケア)研修会の参加により、本施設の糖尿病患者の足病変に関する療養指導に従事する予定です。 以上のとおり、上記の者が糖尿病重症化予防(フットケア)研修を受ける要件を満たしていると評価しますので、ここに推薦いたします。 施設名： 推薦者氏名(自署)： 印 職位(名)： 住所 連絡先 貴施設の「糖尿病合併症管理料」算定の有無： 1、算定済み 2、研修後算定予定 3、未算定					